

佐賀商業定時制 大躍進！

6月8日（日）、SAGAプラザおよびSAGAスタジアムにおいて、佐賀県定時制・通信制体育大会が開催されました。本校からは陸上競技部、卓球部、バスケットボール部が出場し、それぞれの競技において優秀な成績を収めました。また、同日に実施された「第72回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会」では、本校放送部がエントリーしたすべての部門において入賞を果たし、全国大会出場を決める快挙を成し遂げました。

○バスケットボール部（女子）（堂々の準優勝）

対戦相手は、ほとんどの選手がバスケットボール経験者である佐賀北高等学校通信制課程のチームでした。試合序盤は一進一退の攻防が続きましたが、徐々に点差を広げられる苦しい展開となりました。それでも選手たちはマンツーマンディフェンスを徹底し、攻撃においても果敢に挑戦。特にチャンスをとらえた際には、3ポイントシュートを積極的に狙い、4本を成功させるなど健闘を見せました。最終的には惜しくも敗戦となりましたが、選手たちは試合終了のホイッスルが鳴るまで全力で走り抜き、最後まで諦めることなく戦い抜きました。試合後には、対戦校と互いの健闘を称え合い、スポーツを通じた交流を深めることができました。表彰式では、第2位の賞状が授与され、選手たちの努力と団結が高く評価されました。



○陸上部 【祝 全国定通体育大会出場！（2名）】

陸上競技は、国民スポーツ大会の会場としても使用された「SAGAスタジアム」（観客陸上競技は、国民スポーツ大会の会場としても使用された「SAGAスタジアム」（観客席15,000席）にて開催されました。全天候型の走路、大型オーロラビジョン、



専門アナウンサーによる実況など、非常に充実した設備環境のもと、マスタース陸上競技大会との合同開催となりました。日頃の練習とは異なる本格的な競技環境に加え、複数の種目が五月雨式に進行する形式の中で、各選手が自らの出場種目に合わせた的確な準備を求められる状況となりましたが、集中力を発揮し、多くの賞状を獲得することができました。さらに、閉会式後に行われた全国大会出場選手選考会議において、男子 1 名（出場種目：100m、200m、4×100mリレー、4×400mリレー）、女子 1 名（出場種目：砲丸投、円盤投）が佐賀県代表に選出され、全国大会への出場が決定しました。

○卓球部〔祝 全国定通体育大会出場！（4名）〕

男子は、昨年度に感染症の影響で出場が叶わなかった選手もいる中、今年度は万全の感染対策のもと、全員が無事に会場にそろい、試合に臨むことができました。個人戦・団体戦ともに全力を尽くしましたが、惜しくも佐賀工業高等学校に敗れ、賞状の獲得には至りませんでした。

女子は、昨年度の団体優勝校として開会式で優勝旗の返還を行いました。今大会では、各校が本校の連覇を阻止しようと果敢に挑んできましたが、その攻勢を退け、他校を寄せ付けない圧倒的な力で団体戦を制し、見事2年連続の優勝を果たしました。また個人戦においても、本校選手同士による決勝戦が繰り広げられ、表彰台をほぼ独占する結果となりました。昨年度に続く全国大会では、さらなる上位進出を目指しています。



○放送部（全日制との合同大会で快挙達成 祝 全国大会出場）

定時制・通信制体育大会と同日開催された「第 72 回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会」において、本校放送部は、エントリーしたすべての部門で入賞を果たし、全国大会出場を決めるという輝かしい成果を収めました。なかでも、ラジオドキュメント部門では、「定時制ならではの給食」に着目し、生徒会が中心となって取り組んだ給食時間の 10 分間拡大の過程を丁寧に描いた作品が高い評価を受けました。審査員の多くが放送業界の関係者であるなか、本作品が入賞を果たしたことは、本校放送部の優れた企画力・表現力、そして生徒会による主体的な取り組みの質の高さを証明するものです。まさに本校定時制課程における「佐賀商業の底力」が、放送というかたちで社会に力強く発信された瞬間であったといえます。

